

社会福祉法人愛誠会 幕張キッズ（児童発達支援）

事業所における自己評価結果

令和4年12月

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容または改善目標
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等のスペースとの関係で適切である	3	0	限られたスペースである。座って活動できる遊びを提供したり、床にラグを敷くことで遊びごとに分けている。	今後も使用できるスペースを有効に使用して、安全に過ごせるように工夫していく。
	② 職員の配置数は適切である	3	0		加配している。
	③ 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	3	0	障害の特性に応じて適切なスペースの確保ができています。常に付き添い見守りをしており、段差はあるが特に心配点はない。	部屋はわかれていないが、個別学習の場所決めることで遊びの場と学習の場を分けるなど、1部屋でも活動のスペースが分けられるように今後も工夫していく。
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	3	0	消毒・清掃を徹底している。	今後も玩具や部屋の消毒、換気、温度調整などを徹底して環境を整えていく。
業務改善	⑤ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に広く職員が参画しているか	3	0	日々の療育・保育の中で相談しながら、改善に努めている。加えて会議でも業務改善について話し合っている。	
	⑥ 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	3	0	ガイドラインでの評価を毎年必ず行い、それを経て会議で検討している。	今後も、会議で評価を実施して改善点を会議で話し合い、業務改善に繋げていく。
	⑦ 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	3	0	評価をまとめたのち、毎年ホームページにアップしている。	今後もホームページに公開する
	⑧ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0	3		法人として、外部評価の実施を検討していく。
	⑨ 職員の資質向上を行うために、研修の機会を確保している	3	0	毎月職場内研修を実施している。外部の研修に参加するタイミングの確保はあま	今後も毎月の職場内研修を実施し、日々の支援に繋がる内容を学んでいく。加えて、外部の研修への参加に機会を増やしていく。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容または改善目標
				りできていない。	
適切な支援の提供	⑩ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	3	0		今後も、当所アセスメント、標準化されてアセスメントを活用して、所属先や家庭でのニーズを分析して立案していく。
	⑪ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	3	0		今後も、可能な限り標準化されたアセスメントの結果と所見の提供をお願いし当所での療育に繋がられるようにする。
	⑫ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	3	0		
	⑬ 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	3	0	ケース記録にも個別支援計画を挟み、見る機会を増やし、意識した支援ができるようにしている。	
	⑭ 活動プログラムの立案をチームで行っている	3	0	リーダーが中心となり当日に決めている。	
	⑮ 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	3	0	その日の利用児童数や児童の特性に合わせて決められている。	タブレットを使った療育の検討、教材や玩具の選定、購入を検討していく。
	⑯ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	3	0	支援すべき場面や声の掛け方など細かく書かれている。ニーズを把握し、個別支援計画に入れられるようにしている。	
	⑰ 支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	3	0	打ち合わせは状況に応じて行い、他はノートで情報共有している。	朝の打ち合わせを2月～実施している。
	⑱ 支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	2	1	⑰に同じ 同上。必要に応じて職員間でも話している。共有事項はケース記録やスタッフ用連絡ノートに書いている。	
	⑲ 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	3	0	職場内研修にて記録の書き方に	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容または改善目標
				ついて学び、日々の業務に活かせるように意識している。前日の記録を確認して、次の支援に繋げている。	
	⑳ 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	3	0	アセスメント・モニタリングを通して見直している。	
関係機関や保護者との連携	㉑ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	3	0	感染要望もあり担当者会議の開催が少なく、モニタリング等、電話が中心となっている	今後、会議開催時には児童発達支援管理者や個別支援計画書の作成担当者が出席できるようにする。継続してモニタリング等で連携を図っていく。
	㉒ 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	2	1	管理者が必要に応じて行っている。	現在は機会が少ないが、あれば連携していく。
	㉓ (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている				
	㉔ (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている				
	㉕ 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	2	1	必要に応じて。保護者を通して行っている。	
	㉖ 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	1	2	必要に応じて。保護者からの要望があれば対応している	
	㉗ 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	2	1		
	㉘ 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	0	3	利用児のほとんどが保育園、幼稚園等に所属しており、交流の機会がある。	新型コロナウイルス感染要望の為に外遊びを縮小していたが、今後は機会を増やして、地域の公園等で交流できる機会を作っていく。
㉙ (自立支援)協議会こども部会や地域の子ども。子育て会議等へ積極的に参加している	0	3		機会があれば参加する。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容または改善目標
	③⑩ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	3	0	登所時降所時、連絡帳を通して伝えることができています。	
	③⑪ 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレントトレーニング等）の支援を行っている	0	3	ペアレントトレーニングの専門的な知識を持っている職員がおらず、行っていない。	
保護者への説明責任等	③⑫ 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	3	0	契約時に行っている。	今後も丁寧な説明を心掛ける。
	③⑬ 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	3	0		今後も、個別支援計画作成面談で、評価、次回の目標の提案をわかりやすく伝えるようにしていく。
	③⑭ 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	3	0	面談時に聞き取りをしている。また定期的ではなく日頃の利用時にも相談に乗っている。	
	③⑮ 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0	3	児童年齢や発達段階が幅広いこと、毎日利用する場と違い、人それぞれの頻度であること等から実施していない	必要に応じて職員を介して連携を支援していく。進学先、医療系の情報など適切な情報提供ができるようにしていく。
	③⑯ 子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	3	0		迅速・適切に対応していく。解決フローチャートを策定している。
	③⑰ 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	3	0		定期のおたより・なのはな通信・ホームページで発信していく。今後 Facebook・Instagramでの発信も増やしていく。1月より、きずなネットの利用を開始、円滑で適切な情報提供ツールとして活用していく。
	③⑱ 個人情報の取り扱いに十分注意している	3	0		今後も十分に注意していく。
	③⑲ 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	3	0	細かな様子も伝えて共有している。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容または改善目標
	④⑩ 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0	3	コロナにより自粛している。	感染対策を講じながら、徐々に再開できるように検討していく。
非常時等の対応	④⑪ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	2	1	訓練実施には至っていない。	今後も、各種マニュアルについて、契約時に丁寧に説明し、周知に努める。
	④⑫ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	3	0	避難訓練実施の他、AEDの練習や消火器の使い方などを職員研修にて行っている。	今後も年に数回の避難訓練を実施して災害時に備える。いろいろな災害を想定して訓練できるようにする。
	④⑬ 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認している	3	0	保護者を通して対応している。	職員の研修で服薬時、てんかん発作時に注意点について学び、実際の場面で適切な行動ができるようにする。
	④⑭ 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	2	1	保護者を通して対応している。	今後も職員が食物アレルギーについて学ぶ場を作り、理解を深め適切に対応していく。
	④⑮ ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	3	0	毎月の会議でヒヤリハット・事故報告の内容を周知し、年1回総まとめとして件数やその後の対応と今後の配慮点の検討会等を実施している。児童発達支援との事例を共有している。	
	④⑯ 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	3	0	毎年、職員会議で扱っている。加えて、行動チェックの実施や適虐待事件の内容について、回覧し自らの言動を見直す機会としている。	
	④⑰ どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了承を得た上で、児童発達支援計画に記載している	2	1	契約時に必ず確認している。	

社会福祉法人愛誠会 幕張キッズ（放課後等デイサービス）

事業所における自己評価結果

令和4年12月

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標・工夫している 点など
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等のスペースとの関係で適切であるか	3	1	0	マットを活用してスペース作りをしている。蜜回避にも有効である。 児童の更衣場所を設置した。中高生の着替えの場として活用している。 机の配置を工夫して、活動内容によってスペースを分けている。
	② 職員の配置数は適切であるか	3	1	0	基準の職員配置の他に送迎時や行事等、児童発達支援と連携を図り、サポート職員の配置をしている。
	③ 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	2	1	1	室内外の段差に気を付けるよう、声掛け・見守りをしている。配慮が必要な児童にはマンツーマン対応をしている。
業務改善	④ 業務改善を推進するためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に広く職員が参画しているか	3	1	0	日々の療育・保育の中で相談しながら、改善に努めている。加えて会議でも業務改善について話し合っている。
	⑤ 保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	4	0	0	ガイドラインの保護者評価を会議で検討し、改善案を話し合い業務改善につなげている
	⑥ この自己評価表の結果を事業所の会報やホームページ等で公表しているか	4	0	0	ホームページで公表している。
	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	3	1	0	第三者による業務評価については、法人として検討している。
	⑧ 職員の資質の向上を行うために研修の機会を確保しているか	4	0	0	毎月、職場内研修を実施。その他、外部Web研修等に参加している。研修に加えて文献を閲覧できるようにしている。
適切な支援の提供	⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	4	0	0	当所アセスメントを活用して、学校や家庭でのニーズを分析して立案している。学校や家庭の様子については保護者との面談時に聞き取りニーズを把握している。
	⑩ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4	0	0	標準化されたアセスメントについては、保護者から結果と所見の提供を受け、活用している。

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標・工夫している 点など
⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	4	0	0	それぞれの担当者が主となり、提案・検討して立案している。立案後、他職員の意見を聞き、実施している。
⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	4	0	0	放課後の時間、それぞれの宿題や個別課題等に取り組む時間を大切にしているため、その他の時間の活動は固定化しやすくなっている。 手伝いの機会を増やしたり、制作活動を工夫して固定化しないようにしていく。
⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめて細やかに設定して支援しているか	4	0	0	行事では、準備からの役割を増やし、生徒と一緒に行事を作れるようにしている。 感染対策を講じながら、外遊びや外出の機会を増やしていく。 学校行事への参加や法人内の行事へ参加の再開を検討していく。
⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	3	1	0	個別活動も大切にしながら、様々な年齢の子との関わりが持てるように手伝いや活動を工夫している。
⑮	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日に行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	2	2	0	児童の下校送迎や、出勤時間が異なることから全職員での打ち合わせは難しい時もあるが、打ち合わせを実施して職員の動きや児童の様子・支援について確認している。 新しい職員や児童発達支援からのヘルプに対してはより丁寧に説明を行っている。
⑯	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	4	0	0	送迎の関係で全員では難しいが気になる児童の様子や業務連絡等その日のうちに振り返り、共有する時間を作っている。
⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	4	0	0	職場内研修にて記録の書き方について学び、日々の業務に活かせるように意識している。 前日の記録を確認して、次の支援に繋げている。 誰が見てもわかるように意識して記載している。
⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	4	0	0	
⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	3	1	0	自己評価を記入する前に、ガイドラインの全文を回覧して周知した。

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標・工夫している 点など
関係機関や保護者との連携	⑳ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	4	0	0	サービス担当者会議に児童発達管理責任者が参加し、学校や他事業所と連携している。
	㉑ 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	4	0	0	HP や保護者から学校行事計画や学校からのお便りを入手して、学校行事等を把握して送迎計画等に活用している。
	㉒ 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡態勢を整えているか	/			
	㉓ 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	3	1	0	当事業所の児童発達支援を通して、情報提供を受けている。
	㉔ 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	3	1	0	保護者・相談支援専門員を通して情報提供している。 高校卒業後、当法人ワーク幕張を利用する生徒や実習する生徒が増えている。今後も、情報提供等を実施していく。
	㉕ 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	3	0	0	研修を受講したり、情報を職場内で共有するようにしている。 ※1未記入
	㉖ 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害の無い子どもと活動する機会があるか	0	2	2	新型コロナウイルスの影響で機会が減っているが、公園やマンションエントランスのクリスマスツリーの飾りつけ等で交流を再開。地元小学校に通学している児童は、日頃から交流している。
	㉗ (地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	2	2	0	参加の機会があれば実施する。
	㉘ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	4	0	0	面談の実施、日々の連絡帳のやり取りで共通理解を図っている。今後も共通理解できるよう実施していく。
	㉙ 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	3	0	1	支援員が可能な範囲で対応している。ペアレントトレーニング等はその有資格者が実施すべきものと考えており、現在、当事業所にはいない。今後研修等の参加を検討していく。
保護者への説	㉚ 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	4	0	0	契約時と変更・更新時等に書面で伝えている。今後も丁寧な説明を心掛ける。
	㉛ 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	3	1	0	可能な範囲で実施している。今後も研修等の学びの場を増やし、職員の資質の向上を図っていく。

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標・工夫している 点など
	③② 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	0	2	2	児童年齢や発達段階が幅広いこと、毎日利用する場と違い、人それぞれの頻度であること等から、現在のところは必要に応じて職員を介して連携を支援している。歯医者、美容院、進学先の情報について情報提供の事例あり。
	③③ 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4	0	0	迅速・適切に対応していく。解決フローチャートを策定している。
	③④ 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	3	1	0	定期のおたより・なのはな通信・ホームページ以外に、日々の活動・療育の様子を写真や連絡ノートで発信している。今後Facebook・Instagramでの発信も増やしていく。1月より、きずなネットの利用を開始、円滑で適切な情報提供ツールとして活用していく。
	③⑤ 個人情報に十分注意しているか	4	0	0	今後も十分配慮していく。
	③⑥ 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達の為の配慮をしているか	4	0	0	個々の特性に適した方法で伝達していく。
	③⑦ 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	1	2	0	当事業所の行事に招待する機会はない。地域の避難訓練に参加したり、クリスマスツリーの飾り付けに参加した。窓に貼っている月の制作をきっかけに当所の前で立ち止まってくれる方が増えている。 ※1未記入
非常時等の対応	③⑧ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	4	0	0	今後も職員会議で扱うと共に、保護者には年度替わり等に伝えていく。
	③⑨ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他の必要な訓練を行っているか	4	0	0	避難訓練を毎年実施している。広域避難場所への避難経路も体験している。今後はより多くの児童が訓練に参加できるように実施日に配慮していく。
	④⑩ 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	4	0	0	毎年、職員会議で扱っている。加えて、行動チェックの実施や適虐待事件の内容について、回覧し自らの言動を見直す機会としている。
	④⑪ どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	4	0	0	現在、実施例はないが、今後執拘に応じて適切に対応していく。

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標・工夫している 点など
④②	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	4	0	0	保護者を介して投薬について確認し、昼食やおやつの提供にも配慮している。
④③	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	4	0	0	毎月の会議でヒヤリハット・事故報告の内容を周知し、年1回総まとめとして件数やその後の対応と今後の配慮点の検討会等を実施している。児童発達支援との事例を共有している。